

金木 だより

発行 青森県金木町役場 編集 企画室

町の人口と世帯数

人口	男	7,317
	女	7,458
	計	14,775
世帯数		3,635

(S 50. 4. 30 現在)



流行する?!

レジャー農園

「自然に親しみながら収穫の喜び」をキャッチフレーズに、金木町では先月二十三日、大橋町長の肝いりで「日曜百姓の会」が結成され、活動を始めています。

金木町では広大な遊休畑がある反面、畑を耕したいと思っても畑がない、という人もかなりの数にのぼっています。

こういう人たちや、ふだん土に親しむ機会のないサラリーマンなどを対象に「日曜百姓の会」を結成、野菜の自給を図り、物価高に挑戦という実益の面と、畑いじりを通じて体力を増進するという健康の面と、いわゆる一石二鳥を達成しようというわけです。

このため町では芦野地区にある農業安全管理センター南側の約千平方メートルの町有地を二十区画に分け会員に開放、会員たちはウグイスなど小鳥の鳴き声をききながら馴れない手つきでトウモロコシやホーレン草などのウネ立てや植付けに汗を流しています。

「日曜百姓の会」では土地を見つけ、さらに会員を増やして、秋には品評会やいも煮会などを開催することになっています。

オリエンテering公認コース の現地調査実施される

さる五月七日、県庁県民課の西沢課長補佐、相馬主査が来町し、教育委員会の工藤次長らと共に、日本オリエンテering委員会の公認コースとするための現地調査を実施しました。現地調査は金木町役場―芦野公園―川倉小学校―賽の川原―川倉山の神―上水道配水池―金木町役場という順序で行なわれ、作家太宰治と芦野公園周

辺を結びつけることによって全国OLマニアにPRさせるため、観光宣伝にも一役買うというものです。全国公認の時期としては今年の六月下旬頃が見込まれています。これに要する費用として、案内板ポスト等県が全額負担、OL地図作成に県と町がそれぞれ半額負担となっています。

くらしの話題

田植えで、いそがしい毎日をおすごしのことでしょう。そんななかで、「あの人がこんなことを」「その団体がこのようなことを」をお知らせしましょう。

◎町に桜をプレゼント

芦野公園の「桜まつり」の会期中に役場を訪れ、桜の苗木を寄贈したいと言ってきた人がいました。その人は、西津軽郡柏村上古川に住む成田一男さんです。贈られた桜の苗木は、染井吉野五本・八重桜五本で、一本約二千五百円もするものだそうです。

町では、さっそくこの苗木を公園内に植え、より美しい桜を町民に見てもらおうと思っています。

◎ゴミのないきれいな町を

金木町栄町々内会では、私鉄津軽鉄道金木川鉄橋下にゴミが投げ

これから公認後には、日曜日、夏休み等、沢山のオリエンテering愛好者でにぎわうことが期待されています。

オリエンテeringとは、近年になって発達したスポーツで、地図と磁石をたよりに決められた目印しをさがして歩くというもので、自然に親しみながら健康・体力の増強を図ることを目的としています。



◎老人に愛の手を
金木農協喜良市支所婦人部は、四月十九日、中里町特別養老ホーム「静和園」を慰問しました。日ごろから老人だけの生活だけに、おみやげや手踊りなど楽しさいっぱいで、長寿の葉となった一日でした。

◎引揚者団体に助役寄付

五月十六日、花田助役は金木町引揚者団体に対して、一万円寄付しました。



表彰状とともに金一封を贈りました。その金一封(五千円)を栄町々内会に町に寄付し、町では母子福祉に使用したいと思っています。ゴミは勝手に川や空地などへすてずに、決められた場所へ置きましょう。

“太宰の町金木” をつくる会

三月より発足した「太宰の町金木」をつくる会(略称「太宰治会」という)は、作家太宰治の郷土づくりの促進をはかるため、町ぐるみで参加するようにし、町づくりに積極的に反映させることを目的としています。会長には、木立民五郎氏、副会長に高橋元弥氏・相馬京子氏・吉田斉氏が選任され、金木町の文化財・観光産業について審議検討し、町づくりに努力しています。また、会の活動を

小鳥さん

巣箱でおやすみ!!

十日から愛鳥週間

五月十日はバードデー。そしてこの日から一週間を愛鳥週間として、野鳥の保護が呼びかけられました。

そこで、青森県緑化推進委員会からおくられてきた材料で、金木中学校は八十四個、金木南中学校は六十個の巣箱をつくって、公園内や観音山内にある松や桜の枝にくくりつけ、野鳥の保護にあたっています。

朝、窓辺や軒先で鳴く小鳥の声を覚ますかたも多いことでしょう。昨年は日米渡り鳥条約が発効して百九十種の野鳥が保護の対象とされています。これが世界中にひろがれば、どんなにのしいことでしょう。

盛況だった料理講習会

ねらいは弁当のオカズ

最近持ち弁当が都会でもみなおされてきました。しかし、その主役は家庭の主婦である奥様らしいでしょう。そこで、「わずかな予算でおいしいものを」を目的に、三十余名の主婦が集まって、金木中央公民館で料理講習会が開催されました。山中京子さんが音頭をとって、会費五百円(一ヵ月分)で毎月一回の講習会を予定しています。今回は、運動会などにそなえて、そのお弁当のオカズを習っていました。講師には、金木町農業改良普及所の人びとがみえられ、日ごろから料理にはなれている奥様も、この日ばかりはしんけんな手つきでフライパンととっくんできました。

恵まれた環境の中で

喜良市小学校校長

秋田 正司



◎学校の実態
 学級数 九学級
 教職員数 十二名
 児童数 二百九十名
 (特殊学級二)

学区の児童数は年々減少しており、来年度は八学級になる予定です。創立は明治十一年五月で、昭和五十三年には百周年を迎えようとしています。



昭和四十八年に新校地三万四千九百七十七平方メートルの広大な水田の整地作業を終え、四十九年に一億七千七百七十一万円の工費をかけて鉄筋コンクリート三階建の校舎を新築し、十二月に完工したので、去る一月二十八日から明るく清潔で、暖かい新校舎に移転して学習を続けております。

地域住民は、教育に深い関心と熱意を持ち、協力的であり、「新築記念事業協賛会」を設立して、学区民あげて多額の寄付をしたり、財産区からの寄付金を充当して、「環境整備後援会」を組織して、育環境の整備のために尽力するなど、物心両面にわたっての援助を惜しまない現状であります。その他PTA活動・子ども会育成協力会(昭和四十一年八月発足)等、極めて自主的・積極的であります

◎子どもと本校の努力目標
 本校の児童は明朗であり、素直であります。ねばり強さに欠け実践力に乏しいように思われます。このことは、本校ばかりでなく、現代っ子に共通しているところでありましょう。

そこで、「自ら進んで根気強く

学習に取り組む子どもにする」ことを目標の第一に掲げ、理科教育を中核にして学習に励んでいます。つぎに、体力・体面を見ます。と、体力は県平均より一般に劣り、体力では筋力・走力が劣っています。それで「体力づくり」を第二の目標にしています。

体力の劣る原因についてはよくわかりませんが、考えられることの一つに、栄養のアンバランスがあげられると思います。学校給食の実現を期待いたします。また、体力のうち走力が劣るの

は、グラウンドが遠いため、日常の体育指導において、全力疾走の機会がなかったことが原因ではないかと思えます。今後は広いグラウンドを十分生かして体向上に励むつもりです。

子どもの心身の成長は、一日も休むことなく続いています。私たちは恵まれた立派な環境を一層充実させ、子どものひとりひとりの能力を最大限に伸ばすように努力する所存であります。

以上、本校の概況の一端を申し上げます。学校の紹介といたします

昭和五十年年度

金木町行政協力委員

決まる

今年度の金木町行政協力委員が次のとおり決定しました。

会長 西村節男、副会長 中谷孫一、鎌田善七、古川嘉之助

《金木》(本町) 田沢義明(栄町) 中村晴行(田町) 藤田要造(南新町) 白川治光(上山道町) 西村節男(中山道町) 秋谷勇助(下山道町) 小野元靖(美晴町) 鳴海昭治(昭和町) 角田金男(神明町一区) 石戸谷秀雄(神明町二区) 安田柁四郎(朝日町一区) 小山内正次郎(朝日町二区) 青木茂男(北新町) 原田勝衛(小川町一区) 角田昭良(小川町二区) 石岡満(米町) 野宮雄造(川端町) 津島次郎(寺町) 白川兼蔵(芦野町) 鈴木又芳(浦町) 成田平太郎(新富町)

(大橋圭造) 若松町一区 荒井清蔵(若松町二区) 成田正一(若松町三区) 白川昭夫(若松町四区) 坂本義信(見崎町) 大橋勇五郎(三軒町) 斎藤正弘(上沢部) 津島喜之(下沢部) 白川芳治(旭ヶ丘団地) 北沢清一(大東ヶ丘) 中村清勝(芦野団地) 工藤弥三郎、松坂司(蒔田) (上蒔田) 吉田文昭(下蒔田) 斎藤定一(《神原》(神原) 前田富美衛(藤枝) (上藤枝) 坂本千代太郎(中藤枝) 成田平三(下藤枝) 竹内正友(川倉) (湯の川) 成田重雄(林下) 田中和雄(向道) 泉谷竹彦(女坂) 中谷孫一(上宇田野) 中谷正六郎(下宇田野) 中谷幸江子(嘉瀬) (雲雀野団地) 神島俊治(東町) 鎌田

金木地域出稼き相談指導員 決まる

▽竹内正友(藤枝) ▽中谷孫一(川倉) ▽原田ウメ(中柏木) ▽秋谷タキ(金木) ▽白川哲子(蒔田) ▽今 陸栄(川倉)

▽中村ハギエ(嘉瀬) ▽萬西トミエ(更生部落) ▽加賀谷トヨ(喜良市)

*出稼ぎについての問い合わせは町役場町民課へ。

☎三二二一 内線73

直美(上小栗崎) 松川松右エ門(中小栗崎) 神島忠雄(下小栗崎) 山中兼光(上派立) 原田吉雄(中派立) 吉崎万次郎(下派立) 鎌田善七(上新町) 鳴海繁七(下新町) (須崎梅太郎) (上昭和町) 山中哲男(下昭和町) 角田千代吉(本町) (原田清治) (冷水) 今喜代治(車町) (阿部定由) (畑中) 土岐善五郎(後町) 平川久次郎(上古町) 外崎好栄(下古町) 阿部清光(新誠町) 須崎道芳(新堤町) 木下進一(上鍛冶町) 小松常頼(下鍛冶町) (木下伊佐太郎) (上中柏木) 喜良藤松(下中柏木) 西村秀男(喜良市) (更生部落) 工藤義光(西岩見町) 元石繁正(東岩見町) 宮崎与太(林町) 岡田正七(野崎) 宮崎初太郎(北本町) 工藤武男(下派立) 三上菊次郎(上派立) 加賀谷満雄(南本町) 今建三(上柏木) 大橋由吉(下柏木) 古川嘉之助(下町) 古川角右エ門(川端町) 今千年(双葉町) 小山内龍晴

合計八十五名。

お知らせ

保険料を

納められない方は

免除の手続きを

国民年金には、家計が苦しかったり、失業や災害などで保険料を納めたくても納められない人については、年金がうけられるように保険料の納付が免除される制度があります。

保険料の免除には、国民年金の障害年金や母子年金をうけているとき、生活扶助をうけているときに免除される法定免除と、所得がないとき、保険料を納めることが著しく困難であるときに申請すれば、申請したときからその年度末まで免除される申請免除とがあります。

申請免除は、本人やその家族の所得の状況によって認められますので、四月分の保険料から免除をうけたいときは、七月末日までに申請することが必要です。

なお、保険料を免除されたときは、保険料を納めた人に比べ、老年年金の場合は年金額が低くなります。しかし、免除された期間の保険料は生活に余裕ができたときに納めることができます。

この場合、保険料を納めた人と同じ額の年金が支給されますので、できるだけ将来のことを考えて、納めることをお勧めします。

再開五年年金に

加入している方へ

昭和四十八年十月から昭和四十九年三月三十一日までに加入申出をして再開五年年金の加入者になった人は、昭和四十五年六月までさかのぼって一ヵ月九百円の保険料を納めなければならないことになっていきます。

そして、加入申出後の保険料とさかのぼって保険料を納めた期間と合わせて五年になれば、五年年金をうけることができます。

再開五年年金に加入している人のなかには、いちばん早い人で本年七月から年金の支給が始まりますが、五年分の保険料を完納していませんと、年金をうけることができません。

保険料の納期限は六月三十日までとなっておりますので、納め忘れないように注意したいものです。くわしいことについては、年金係でおたずねください。

老人医療費受給者証の

交付について

満七十才になっても、まだ老人医療費受給者証を申請していない方がありましたら、保険課老人係まで印かんをもっておいでください。

今年満七十才になられる人は、明治三十八年生まれのかたですが所得に制限があったり、生活保護受給者であるために、受給資格のない人もありますので、詳しくは役場保険課におたずねください。



ご誕生おめでとうございます

(4月届出分)

- 今 竜騎 (智夫) 長男 喜良市
- 角田 亜紀子 (孝司) 2女 金木
- 西村 公希 (健三) 長男 金木
- 西村 太吾 (賢三) 長男 喜良市
- 田中 幸彦 (良年) 2男 金木
- 桑田 都 (茂) 長女 喜良市
- 古川 真美子 (滋) 長女 喜良市
- 山田 真 (弘志) 長男 金木
- 白川 美樹 (豊則) 長女 川倉
- 沢田 英子 (勝) 長女 嘉瀬
- 白川 春菜 (秋男) 長女 沢部
- 秋元 由美子 (利行) 長女 沢部
- 荒関 忠之 (正三) 長男 金木
- 松江 美和 (喜代寿) 長女 金木
- 須崎 美帆子 (勉) 長女 嘉瀬
- 泉谷 有香 (宣正) 2女 川倉
- 三浦 健一 (鉄夫) 長男 金木
- 土岐 征也 (俊一) 3男 嘉瀬
- 秋村 亜香根 (孫由) 長女 嘉瀬
- 相馬 直人 (伸光) 長男 嘉瀬

ご結婚おめでとうございます

(4月届出分)

- 齋藤 忠幸 (繁治) 2男 金木
- 蛸島 いち子 (岩太郎) 3女 嘉瀬

- 芦田 健一 (蔵之助) 長男 喜良市
- 石沢 たけ子 (喜代蔵) 6女 車力村
- 塚本 敏春 (トミエ) 男 中里町
- 高橋 真子 (重蔵) 長女 喜良市
- 山田 米秋 (知) 3男 宮崎県
- 秋元 京子 (嘉信) 長女 金木
- 中谷 明康 (敏雄) 3男 川倉
- 長部 ひで子 (公司) 長女 群馬県
- 遠藤 秀夫 (徳三郎) 長男 北海道
- 三濁 リツエ (六夫) 2女 川倉
- 安藤 昭夫 (巴) 2男 新潟県
- 角田 博子 (義治) 3女 川倉
- 角田 敏昭 (義吉) 2男 宮城県
- 太田 久美子 (亮) 長女 金木
- 齋藤 彦三 (伝太) 3男 嘉瀬
- 中谷 あい子 (三九郎) 長女 中里町
- 山中 金造 (金五郎) 長男 嘉瀬
- 東出 外志子 (政義) 7女 東京都
- 柴山 三三男 (正男) 2男 北海道
- 一戸 美砂子 (殖) 2女 金木
- 阿部 仁 (松雄) 長男 北海道
- 工藤 美夜子 (秀美) 長女 喜良市
- 新堀 健 (平三郎) 3男 金木
- 角田 セツ (与助) 長女 北海道
- 高橋 秀文 (義雄) 長男 板柳町
- 神島 美保子 (清光) 長女 嘉瀬
- 古川 昭舟 (音太郎) 長男 喜良市
- 古川 シゲ子 (角右衛門) 2女 喜良市
- 吉田 喜代蔵 (栄一) 長男 蒔田
- 田中 文子 (喜之助) 3女 平内町
- 秋元 勝春 (卯之助) 2男 嘉瀬
- 福田 厚子 (弥太郎) 2女 青森市
- 山本 俊則 (彦則) 4男 中里町
- 山中 月子 (誠次) 長女 嘉瀬
- 小笠原 経子 (定五郎) 5男 喜良市
- 古川 一治 (繁一) 4男 青森市
- 蛸島 真知子 (清光) 2女 鹿兒島
- 白川 年秋 (嘉蔵) 3男 碓ヶ関
- 長尾 まさ (才太郎) 2女 金木
- 佐野 茂 (市太郎) 長男 和歌山
- 原田 秀美 (末丸) 2女 中柏木

おくやみ申しあげます

(4月届出分)

- 荒井 鉄雄 (42才) 川倉
- 中村 長作 (78才) 嘉瀬
- 野呂 敏雄 (72才) 金木
- 山中 良治 (38才) 嘉瀬
- 工藤 弥十郎 (79才) 嘉瀬
- 中谷 佳子 (4才) 川倉
- 蛸島 岩太郎 (66才) 嘉瀬
- 田中 与之助 (83才) 金木
- 米谷 孝太 (8才) 喜良市
- 岡田 オリ (88才) 喜良市
- 中村 たよ (89才) 喜良市
- 高橋 功 (清治) 4男 金木
- 長谷川 照代 (広司) 4女 群馬県
- 長尾 裕二 (広正) 長男 名古屋
- 今 真智子 (智男) 4女 喜良市
- 渡辺 良晴 (良巳) 長男 北海道
- 小山内 恵子 (正次郎) 長女 金木
- 三戸 徹 (千代志) 2男 木造町
- 小山内 千笑 (勝美) 長女 嘉瀬
- 原田 啓一 (常造) 長男 中柏木
- 立崎 洋子 (喜代美) 長女 十和田
- 河原 宏 (和三郎) 長男 青森市
- 鳴海 花 (彦一) 長女 嘉瀬

普及所移転のお知らせ

金木地区農業改良普及所は、今まで役場庁舎三階で事務を行っていましたが、五月十七日から新しい建物に移転しました。場所は中央公民館と自動車学校の間です。
 ◇新住所 金木町菅原三七八ノ一
 ☎ (二)二二六五・(二)五三七九